

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT活用工事(土工1000m³未満)実施要領」、「ICT活用工事(小規模土工)実施要領」、「ICT活用工事(構造物工(橋脚・橋台))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工)実施要領」、「ICT活用工事(擁壁工)実施要領」、「ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(ブロック据付工(港湾))実施要領」及び「ICT活用工事(海上地盤改良工：床掘工・置換工編(港湾))実施要領」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号)に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT活用工事(土工1000m³未満)実施要領」、「ICT活用工事(小規模土工)実施要領」、「ICT活用工事(構造物工(橋脚・橋台))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工)実施要領」、「ICT活用工事(擁壁工)実施要領」、「**ICT活用工事(コンクリート堰堤工)実施要領**」、「ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(ブロック据付工(港湾))実施要領」及び「ICT活用工事(海上地盤改良工：床掘工・置換工編(港湾))実施要領」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号)に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法（各種仕様）は「**愛知県デジタル写真管理情報基準（案）**」に基づくものとする。

4. その他

4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事**完了**時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度にするものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影へ提出とする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等の**協議**の上、取り扱いを定めるものとする。

※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準」（品質管理基準及び規格値）に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準」（出来形管理基準及び規格値）に示す編章節と整合を取っている。

2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法（各種仕様）は「**愛知県デジタル写真管理情報基準（案）**」に基づくものとする。

4. その他

4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事**完成**時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度にするものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影へ提出とする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等の**協議**の上、取り扱いを定めるものとする。

※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準」（品質管理基準及び規格値）に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準」（出来形管理基準及び規格値）に示す編章節と整合を取っている。

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	7	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート、マット工) (種子帯工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕	
						土羽土の厚さ	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
				2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕	
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕	
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
						材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕	
				3	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック 積) (コンクリートブロック 張り)	厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長 厚さ (ブロック積張)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
					2 コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
				4	緑化ブロック工	幅	80m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
						厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
				5	石積（張）工	法長 厚さ(ブロック)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
						厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長 厚さ(石積・張)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	7	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート、マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕	
						土羽土の厚さ	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
				2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕	
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕	
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕	
						法長	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
						材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕	
				3	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック 積) (コンクリートブロック 張り)	厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長 厚さ (ブロック積張)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
					2 コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
				4	緑化ブロック工	幅	80m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	
						厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
				5	石積（張）工	法長 厚さ(ブロック)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	
						厚さ(裏込)	40m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	
						法長 厚さ(石積・張)	80m又は1 施工箇所に1 回 ただし、根入部は40mに1 回 〔施工後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	1 共通 関係	6		側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
			7		場所打水路工	厚さ 幅 高さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部相当箇所は40mにつき1回 〔型枠取外し後〕	
			8		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕	
			9		暗渠工	幅 深さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
			10		刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1 施工箇所につき1回 〔仮組立時〕	
			11		階段工	幅 高さ 長さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
		2 河川 関係	1		巨石張り、巨石積み	胴込裏込厚	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕	
						法長	80m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			2		かごマット	高さ 法長	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			3		じゃかご	法長 厚さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			4		ふとんかご、かご枠	高さ 幅	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			5		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎につき1回 〔製作後〕	
						幅	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			6		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			7		捨石工	幅 高さ 法長	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			8		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	1 共通 関係	6		側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
			7		側溝工 (場所打水路工)	厚さ 幅 高さ	80m又は1 施工箇所につき1回 ただし、根入部相当箇所は40mにつき1回 〔型枠取外し後〕	
			8		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕	
			9		側溝工 (暗渠工)	幅 深さ	40m又は1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
			10		刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1 施工箇所につき1回 〔仮組立時〕	
			11		階段工	幅 高さ 長さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
		2 河川 関係	1		巨石張り、巨石積み	胴込裏込厚	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工中〕	
						法長	80m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			2		かごマット	高さ 法長	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			3		じゃかご	法長 厚さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			4		ふとんかご、かご枠	高さ 幅	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			5		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎につき1回 〔製作後〕	
						幅	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			6		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			7		捨石工	幅 高さ 法長	40m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	
			8		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
9 下 水 道	1 管 路	6 管 き よ （ シールド）	3 一 次 覆 工		二次覆工	二次覆工厚 t	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
						仕上がり内径 D	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
						覆工状況	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔施工中〕	
						各種設備設置撤去状況	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔施工中〕	
						中心線のずれ（水平）	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
	7 管 き よ 更 生 工	3 管 き よ 内 面 被 覆 工			反転・形成工法	前処理工	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	最新版の「管きよ更生工法における設計・施工ガイドライン（案）」に準拠して実施する。
						挿入状況 （引込作業状況、 圧力管理状況等）	管径毎に1回 〔施工中〕	
						硬化状況 （圧力管理状況、 温度管理状況）	管径毎に1回 〔施工中〕	
						管口硬化収縮状況 （内径測定状況）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工中〕	
						本管管口切断状況	適宜 〔施工中〕	
						取付管管口せん孔状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						更生管口仕上がり状況 （施工前、施工後）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり 厚さ （ノギスで測定）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり 内径	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後：硬化直後、 硬化後24時間以降〕	
						取付管口仕上がり状況	1 スパン毎、かつ5箇所に付き1箇所 〔施工後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
9 下 水 道	1 管 路	6 管 き よ （ シールド）	3 一 次 覆 工		二次覆工	二次覆工厚 t	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
						仕上がり内径 D	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
						覆工状況	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔施工中〕	
						各種設備設置撤去状況	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔施工中〕	
						中心線のずれ（水平）	施工延長40m（測点間隔50mの場合は50m）につき1回 〔覆工後〕	
	7 管 き よ 更 生 工	3 管 き よ 内 面 被 覆 工			反転・形成工法	前処理工	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	最新版の「管きよ更生工法における設計・施工ガイドライン」に準拠して実施する。
						挿入状況 （引込作業状況、 圧力管理状況等）	管径毎に1回 〔施工中〕	
						硬化状況 （圧力管理状況、 温度管理状況）	管径毎に1回 〔施工中〕	
						管口硬化収縮状況 （内径測定状況）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工中〕	
						本管管口切断状況	適宜 〔施工中〕	
						取付管管口せん孔状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						更生管口仕上がり状況 （施工前、施工後）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり 厚さ （ノギスで測定）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり 内径	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後：硬化直後、 硬化後24時間以降〕	
						取付管口仕上がり状況	1 スパン毎、かつ5箇所に付き1箇所 〔施工後〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
9 下水道	1 管路	7 管きよ更生工	3 管きよ内面被覆工		製管工法	前処理工	1 施工箇所に1回 〔据付後〕	最新版の「管きよ更生工法」における設計・施工ガイドライン（案）に準拠して実施する。
						製管作業状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						充てん剤注入作業状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						本管管口切断状況	適宜 〔施工中〕	
						管口状況 （仕上がり内径測定状況）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工中〕	
						取付管管口せん孔状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						更生管口仕上がり状況 （施工前、施工後）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり内径寸法測定	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						取付管口仕上がり状況	1 スパン毎、かつ5箇所に付き1箇所 〔施工後〕	
					現場打ちマンホール工	据付状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						幅 b（内法）	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						壁厚 t		
	8 マンホール工	3 現場打マンホール工			マンホール基礎工	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						床掘深 h	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						基礎工幅 b1		
						基礎工高 h1		
						コンクリート幅 b2		
						コンクリート高 h2		
					副管（外副管）	据付状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						基礎工幅 b1	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						基礎工高 h1		
						コンクリート幅 b2		
						コンクリート高 h2		

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
9 下水道	1 管路	7 管きよ更生工	3 管きよ内面被覆工		製管工法	前処理工	1 施工箇所に1回 〔据付後〕	最新版の「管きよ更生工法」における設計・施工ガイドラインに準拠して実施する。
						製管作業状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						充てん剤注入作業状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						本管管口切断状況	適宜 〔施工中〕	
						管口状況 （仕上がり内径測定状況）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工中〕	
						取付管管口せん孔状況	管径毎に1回 〔施工中〕	
						更生管口仕上がり状況 （施工前、施工後）	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						更生管仕上がり内径寸法測定	1 スパン毎に上下流各1回 〔施工後〕	
						取付管口仕上がり状況	1 スパン毎、かつ5箇所に付き1箇所 〔施工後〕	
	8 マンホール工	3 現場打マンホール工			現場打ちマンホール工	据付状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						幅 b（内法）	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						壁厚 t		
					マンホール基礎工	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						床掘深 h	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						基礎工幅 b1		
						基礎工高 h1		
						コンクリート幅 b2		
						コンクリート高 h2		
					副管（外副管）	据付状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕	
						基礎工幅 b1	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
						基礎工高 h1		
						コンクリート幅 b2		
						コンクリート高 h2		